

かわさきのものづくり “今と未来を語ろう”

3Dプリンターが様々な場面で注目される状況、横浜国立大学では、「超高精度・高速造形プラットフォームの構築、オープンイノベーションによる装置開発・高付加価値製品の創出」の研究を進めています。このような研究に象徴される「ものづくり」の変化の中で、川崎のものづくりを支える企業が、それぞれの現在の取り組みと未来への方向を熱く語ります。

- 日 時 平成27年2月24日(火) 午後2時～4時
(シンポジウム終了後に交流会を設定しています)
- 会 場 かわさき新産業創造センター (KBIC) 新館 会議室
- 定 員 60名
- 参加費 無料
- 主 催 川崎市・公益財団法人川崎市産業振興財団
- コーディネータ
横浜国立大学
研究推進機構 産学官連携推進部門 共同研究推進センター
教 授 村富 洋一氏
早稲田大学理工部機械工学科 卒業
三菱電機(株)先端技術総合研究所 情報技術総合研究所主席研究員
鎌倉製作所主席技師長を経て2008年から現職
工学博士(東京工業大) 技術士(総合技術監理部門 機械部門)

■ 申込み・問い合わせ

かわさき新産業創造センター (KBIC) 管理室
幸区新川崎7番7号 新川崎創造のもり地区
☎ 044-587-1591 (小泉 担当)
E-mail kbic@kawasaki-net.ne.jp

※電話又はメールにてお申し込みください

※氏名、住所又は勤務先、連絡先電話番号、交流会参加予定をお知らせください

※交流会参加費(1000円)は当日受付にて頂戴いたします。

パネリスト紹介

●横浜国立大学

工学研究院 システムの創生部門（理工学部 機械工学・材料系学科）

教 授 丸尾 昭二氏

大阪大学工学部応用物理学専攻卒業、同大学院工学研究科応用物理学専攻博士後期課程修了博士(工学)取得、日本学術振興会特別研究員、名古屋大学大学院工学研究科助手を経て現職。専門は3次元造形・鋳造技術、ラボオンチップ、MEMSなど。

●株式会社長津製作所

代表取締役会長 牧野 俊清氏

プラスチック金型製造に輝かしい実績と長い歴史を持つ業界を代表するリーディングメーカーで、産学連携によるナノレベルの超精密金型の開発も手掛ける。日本金型工業会会長の要職にある

●SOLIZE Products 株式会社(ソライズプロダクツ)

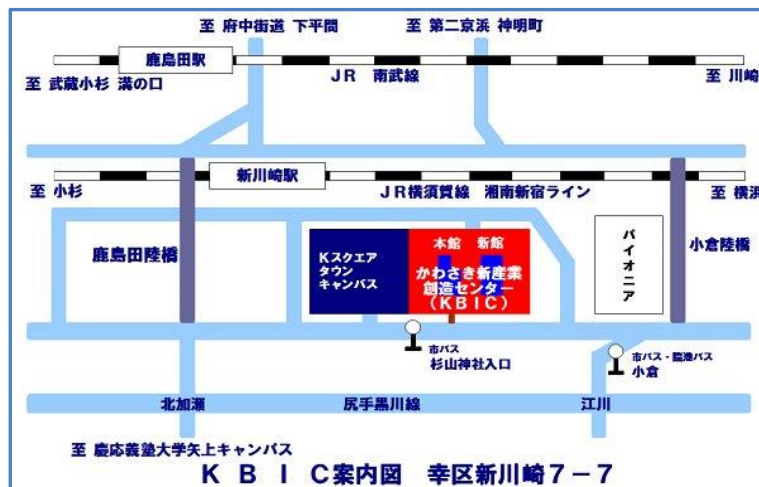
代表取締役社長 後藤 文男氏

2013年設立、試作モデル製作（光造形、粉末造形、注型、鋳造、樹脂・金属切削、板金など）米国3Dシステムズ社製造形装置販売、ユーザーサポート業務を手掛ける

●株式会社二幸技研

取締役副工場長 秀倉 健太氏

今年度ものづくりブランド認定企業。自社で蓄積した注型技術を活かして、新たに確立した高強度、高耐熱のガラス入りナイロンの注型技術。それまでの金型の使用や切削に行ってきた技術よりも、安価に早く加工することが可能。主に、自動車業界において、軽量化ニーズへの対応に同社の技術が活用されている。



■ JR南武線

鹿島田駅から徒歩15分

■ JR横須賀線

新川崎駅から徒歩10分

■ 川崎市営バス

杉山神社入口バス停前

駐車場（有料）の数には限りがございますので公共交通機関でのご来場をお勧めします。